

# 2022年(令和4)3月1日 火曜日 南日本新聞掲載

## 記者の目

日置支局・吉田文

日置市東市来の上市来中学校は全生徒23人の小規模校。1年後、10倍以上の生徒がいる東市来中に統合する。子どもたちが集団の中で切磋琢磨<sup>せつさたくま</sup>して成長できるよう、住民が要望する形で決まった。

その上市来中学校で2月、霧島市の企業で採用を担当する竹内亮太さん(34)による進路講話があった。枕崎市出身。生徒の多い樟南高校に進学、野球部主将として甲子園に出場した。「人前で話すのは苦手だった。勇気を出して経験し、できるようになった」と振り返った。

講演後、一人の1年生が校長室にいた竹内さんを訪ねてきた。新しい学校での友だちのつくり方

## 勇気を出して

を教えてほしいという。3年生で統合を迎える。今の学校は皆、同じ小学校からの持ち上がりで、気心が知れている。新しい学校での生活に不安を感じるのも無理はない。

地域や両校の関係者は、生徒が規模の大きな学校にうまく移行できるよう登下校の支援や事前交流などの検討を重ねる。4月から授業や部活動など4回の交流会が計画されている。

竹内さんを訪ねた生徒の勇気や積極性を見て、上市来の子どもたちなら、じきになじんでいけるだろうと感じた。新しい環境に踏み出す経験は、高校生や社会人になってもきつと役に立つと伝えたい。